



## 2024年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年10月6日

上場会社名 株式会社 ワキタ

上場取引所 東

コード番号 8125 URL <https://www.wakita.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 脇田貞二

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長 (氏名) 成山敦彦

TEL 06-6449-1901

四半期報告書提出予定日 2023年10月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年2月期第2四半期の連結業績(2023年3月1日～2023年8月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第2四半期	42,179	11.7	2,757	2.0	2,858	2.2	1,628	6.0
2023年2月期第2四半期	37,764	6.3	2,703	6.0	2,798	4.9	1,732	6.2

(注) 包括利益 2024年2月期第2四半期 2,161百万円 (9.9%) 2023年2月期第2四半期 1,967百万円 (4.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第2四半期	32.53	
2023年2月期第2四半期	33.61	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年2月期第2四半期	141,762	99,521	69.6
2023年2月期	138,652	99,574	71.2

(参考) 自己資本 2024年2月期第2四半期 98,604百万円 2023年2月期 98,709百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期		0.00		38.00	38.00
2024年2月期		0.00			
2024年2月期(予想)				43.00	43.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年2月期の連結業績予想(2023年3月1日～2024年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	90,000	14.1	6,400	11.0	6,550	11.4	4,200	7.6	83.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年2月期2Q	52,021,297 株	2023年2月期	52,021,297 株
期末自己株式数	2024年2月期2Q	2,154,926 株	2023年2月期	1,888,341 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年2月期2Q	50,057,955 株	2023年2月期2Q	51,545,947 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
(収益認識関係)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2023年3月1日~2023年8月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の法的位置付けが2023年5月に5類感染症へと移行するなど、拡大防止のための行動制限の緩和により、社会経済活動の正常化が進展したものの、ロシアのウクライナ侵攻などの影響による資源価格やエネルギー価格の高騰、急速な円安に伴う物価上昇などにより、景気の先行きは不透明な状況となっております。

当社グループの中核事業である建機事業を取り巻く環境においては、公共投資は底堅く安定的に推移し、民間設備投資についても持ち直しの動きが見られるものの、建設コストの上昇や土木建設の担い手不足等の影響により、業界を取り巻く環境は引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは2022年4月に2025年2月期を最終年度とする「2025 中期経営計画」を策定し、「安定から成長へ」と目標を定め、PBR向上の実現に向けた経営の推進のための成長シナリオを創出する施策である、ネットワーク展開、建設ICTの強化、介護事業の拡充及び人材戦略に注力し、持続的成長と中長期的な企業価値向上を図って参りました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、421億79百万円(前年同期比11.7%増)、営業利益は27億57百万円(前年同期比2.0%増)、経常利益は28億58百万円(前年同期比2.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、16億28百万円(前年同期比6.0%減)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### ① 建機事業

建機事業では、販売部門は急激な円安進行の影響で輸入製品の仕入価格上昇による売上原価の増加があったものの、取引先の購買意欲が回復傾向にあり、売上高・利益面とも伸びました。

賃貸部門は民間・公共事業ともにレンタル需要は引き続き堅調に推移し、資産機の高水準投資により売上は伸びたものの、地域間による市況の格差や価格転嫁の遅れの影響により利益は減少いたしました。

その結果、建機事業全体の売上高は、347億95百万円(前年同期比6.4%増)、セグメント利益は、15億24百万円(前年同期比9.0%減)となりました。

#### ② 商事事業

商事事業では、販売部門はカラオケ市場環境の復調と新規開拓により売上高・利益面ともに増加いたしました。

賃貸部門は介護事業を行う連結子会社サンネットワークリブ株式会社の積極的な先行投資が功を奏しました。新たに連結子会社に加わった株式会社ワキタケアネットの業績が当第2四半期より組み込まれ、グループ化のための初期投資費用を計上したものの、売上高・利益面ともに増加いたしました。

その結果、商事事業全体の売上高は、38億34百万円(前年同期比107.5%増)、セグメント利益は、1億73百万円(前年同期比7.8%増)となりました。

#### ③ 不動産事業

不動産事業では、販売部門は期初計画した広島県内の賃貸収益物件の売却を行い、また、賃貸部門は保有している商業ビルやマンション等の稼働率が堅調に推移したことに加えて、ホテル事業の稼働状況にも回復がみられました。

その結果、不動産事業全体の売上高は、35億48百万円(前年同期比10.4%増)、セグメント利益は、10億59百万円(前年同期比22.1%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ31億9百万円増加し、1,417億62百万円となりました。これは主に、のれんの増加44億27百万円等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ31億62百万円増加し、422億41百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加9億27百万円及び固定負債その他に含まれる長期設備関係未払金の増加9億38百万円等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ52百万円減少し、995億21百万円となりました。これは主に、自己株式の増加3億49百万円及び利益剰余金の減少2億36百万円等によるものであります。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べ41億18百万円(17.8%)減少し、190億24百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、71億33百万円となりました。（前年同期は支払期日管理の合理化を目的とした支払手形の期限短縮に伴う仕入債務の減少額78億35百万円等の影響で10億43百万円の減少）これは主に、税金等調整前四半期純利益28億51百万円、減価償却費33億30百万円及び売上債権の減少額11億45百万円等によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、58億77百万円となりました。（前年同期は26億99百万円の減少）これは主に、有形固定資産の取得による支出8億13百万円及び連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出50億36百万円等によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、56億33百万円となりました。（前年同期は50億37百万円の減少）これは主に、設備関係割賦債務の返済による支出30億14百万円及び配当金の支払額19億7百万円等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月期の連結業績予想につきましては、2023年4月7日の決算発表時に公表いたしました数値と変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	20,210	18,424
受取手形及び売掛金	20,182	19,891
有価証券	3,713	600
商品	5,305	—
商品及び製品	—	5,215
貯蔵品	150	—
原材料及び貯蔵品	—	184
仕掛品	—	103
その他	975	1,234
貸倒引当金	△69	△85
流動資産合計	50,467	45,567
固定資産		
有形固定資産		
貸与資産（純額）	12,457	12,511
賃貸不動産（純額）	42,678	43,728
土地	11,079	11,564
その他（純額）	9,501	9,980
有形固定資産合計	75,716	77,783
無形固定資産		
のれん	6,070	10,497
その他	636	703
無形固定資産合計	6,706	11,201
投資その他の資産		
投資有価証券	2,991	4,249
退職給付に係る資産	787	833
その他	2,484	2,714
貸倒引当金	△503	△587
投資その他の資産合計	5,761	7,209
固定資産合計	88,184	96,195
資産合計	138,652	141,762

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,626	11,553
短期借入金	920	1,009
1年内返済予定の長期借入金	122	120
未払法人税等	1,201	1,330
賞与引当金	405	498
製品保証引当金	—	9
その他	7,573	8,259
流動負債合計	20,848	22,782
固定負債		
長期借入金	543	652
役員株式報酬引当金	106	85
役員退職慰労引当金	21	26
退職給付に係る負債	283	373
その他	17,275	18,320
固定負債合計	18,229	19,459
負債合計	39,078	42,241
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	13,821	13,821
資本剰余金	16,627	16,627
利益剰余金	71,092	70,855
自己株式	△2,154	△2,503
株主資本合計	99,386	98,800
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,086	1,530
繰延ヘッジ損益	185	241
土地再評価差額金	△2,144	△2,144
退職給付に係る調整累計額	195	175
その他の包括利益累計額合計	△676	△195
非支配株主持分	864	916
純資産合計	99,574	99,521
負債純資産合計	138,652	141,762

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年3月1日 至2022年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年3月1日 至2023年8月31日)
売上高	37,764	42,179
売上原価	27,435	30,334
売上総利益	10,328	11,844
販売費及び一般管理費	7,625	9,087
営業利益	2,703	2,757
営業外収益		
受取利息	2	0
受取配当金	75	73
仕入割引	18	16
為替差益	35	37
投資事業組合運用益	9	10
その他	38	65
営業外収益合計	180	204
営業外費用		
支払利息	62	89
撤去費用	12	—
その他	11	13
営業外費用合計	85	102
経常利益	2,798	2,858
特別利益		
固定資産売却益	13	0
特別利益合計	13	0
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	1	6
その他	—	1
特別損失合計	1	8
税金等調整前四半期純利益	2,810	2,851
法人税、住民税及び事業税	1,050	1,213
法人税等調整額	△22	△28
法人税等合計	1,028	1,185
四半期純利益	1,782	1,665
非支配株主に帰属する四半期純利益	49	37
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,732	1,628



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
四半期純利益	1,782	1,665
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△49	444
繰延ヘッジ損益	247	70
退職給付に係る調整額	△13	△19
その他の包括利益合計	185	495
四半期包括利益	1,967	2,161
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,867	2,109
非支配株主に係る四半期包括利益	99	52

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,810	2,851
減価償却費	2,910	3,330
のれん償却額	556	610
貸倒引当金の増減額(△は減少)	48	49
賞与引当金の増減額(△は減少)	26	27
退職給付に係る資産及び負債の増減額(△は減少)	△23	△61
受取利息及び受取配当金	△78	△74
支払利息	62	89
有形固定資産除売却損益(△は益)	△12	5
売上債権の増減額(△は増加)	2,377	1,145
棚卸資産の増減額(△は増加)	△782	72
仕入債務の増減額(△は減少)	△7,835	287
その他	254	66
小計	314	8,400
利息及び配当金の受取額	78	73
利息の支払額	△62	△89
法人税等の支払額	△1,374	△1,250
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,043	7,133
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△300	—
有形固定資産の取得による支出	△2,474	△813
有形固定資産の売却による収入	41	5
投資有価証券の取得による支出	△26	△1
投資有価証券の売却及び償還による収入	205	1
貸付けによる支出	△2	△2
貸付金の回収による収入	2	1
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△5,036
その他	△145	△32
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,699	△5,877
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△123	△220
長期借入金の返済による支出	△39	△69
リース債務の返済による支出	△3	△41
設備関係割賦債務の返済による支出	△2,371	△3,014
自己株式の売却による収入	0	—
自己株式の取得による支出	△783	△379
配当金の支払額	△1,715	△1,907
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,037	△5,633
現金及び現金同等物に係る換算差額	21	8
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△8,759	△4,368
現金及び現金同等物の期首残高	33,724	23,142
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	249
現金及び現金同等物の四半期末残高	24,965	19,024

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(役員向け株式交付信託について)

当社は、中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的として、当社の取締役(監査等委員である取締役を除く。以下同様。)を対象にした株式報酬制度「役員向け株式交付信託」を導入しております。

(1) 取引の概要

本制度は、当社が金銭を拠出することにより設定する信託(以下、「本信託」という。)が当社株式を取得し、当社が各取締役に付与するポイントの数に相当する数の当社株式が本信託を通じて各取締役にに対して交付されるという、株式報酬制度です。なお、取締役が当社株式の交付を受ける時期は、原則として取締役の退任時です。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度末133百万円、115,950株、当第2四半期連結会計年度末104百万円、90,950株であります。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建機事業	商事事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	32,700	1,848	3,215	37,764	—	37,764
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	1	—	1	△1	—
計	32,701	1,849	3,215	37,766	△1	37,764
セグメント利益	1,675	161	867	2,703	△0	2,703

(注) 1 セグメント利益の調整額△0百万円は、棚卸資産の調整額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建機事業	商事事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	34,795	3,834	3,548	42,179	—	42,179
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	1	—	2	△2	—
計	34,797	3,835	3,548	42,182	△2	42,179
セグメント利益	1,524	173	1,059	2,757	△0	2,757

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(表示方法の変更)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報を、「注記事項(収益認識関係)」に記載する方法に変更しております。なお、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報も「注記事項(収益認識関係)」に記載しております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第2四半期連結累計期間(自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			
	建機事業	商事事業	不動産事業	計
売上高				
販売収益等	18,773	820	692	20,286
賃貸収益等(注)	13,925	1,011	2,522	17,458
その他	2	16	0	18
外部顧客への売上高	32,700	1,848	3,215	37,764

(注) 賃貸収益等には、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく賃貸料収入等として建機事業12,010百万円、商事事業1,011百万円、不動産事業2,199百万円がそれぞれ含まれております。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			
	建機事業	商事事業	不動産事業	計
売上高				
販売収益等	20,401	1,579	848	22,828
賃貸収益等(注)	14,382	2,240	2,700	19,324
その他	11	14	—	26
外部顧客への売上高	34,795	3,834	3,548	42,179

(注) 賃貸収益等には、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく賃貸料収入等として建機事業12,424百万円、商事事業2,240百万円、不動産事業2,208百万円がそれぞれ含まれております。